

# 町のあだい

今月の題字 佐藤 弦次君 (船越小4年)



## 五輪ホストタウン関連イベント 児童らがオランダ文化学ぶ

11月24日、オランダ島ハウスで、オランダの文化や歴史を学ぶイベントが行われました。これは、本町が2020年東京五輪・パラリンピックの「復興『ありがとう』ホストタウン」に登録されたことを受けて町が企画したイベントです。参加した児童らは、オランダとの交流の歴史を学んだほか、穴に木のブロックを入れて点数を競う「シューレン」というゲーム、チーズやお菓子などの食文化を体験。また、来年5月のオランダ島ハウス寄贈5周年に向け、チューリップの球根500個を外庭に植えました。町では、今後も関連イベントの企画を行っていきます。



## B&G復興植樹祭in山田町開催 シダレザクラなど約千本

12月1日、B&G海洋センター体育館でB&G復興植樹祭in山田町が開催されました。これは、(公財) B&G財団(前田康吉会長)が人口減少を食い止めようと全国で行っている活動。シダレザクラやイチヨウなど5種類、約千本の苗木を植樹しました。当日は、同財団が子ども健全育成大使に任命している女優の酒井法子さんも訪れました。参加した子どもたちは、家族と力を合わせて植樹。その後は、未来の自分宛ての手紙を入れたタイムカプセルを埋めました。堀合日莉さん(山田南小4年)は「植樹は大変だったけど楽しかったです」と笑顔で話しました。

## 町の特産品新巻きザケ作り 町内の児童・生徒が体験

12月8日、14日に豊間根中学校の1年生18人が新巻きザケ作りを体験しました。これは、山田町漁業就業者育成協議会が主催したもので、同月は山田南小、織笠小、轟木小、船越小、大浦小の児童59人も体験。豊間根中は、生徒に漁業について学んでもらおうと今年初めて実施しました。サケのさばき方や塩漬け、水洗いを体験し漁業への興味と理解を深めた生徒たち。関大斗君(1年)は「魚をさばくのは初めてのことでした。作業をとあして、自分たちは命をもらって生きているんだということを実感できました」と感想を話しました。

